

「定住第2世代、活用を」

静岡文化芸術大 副学長が講演 外国人受け入れテーマ

県国際経済振興会は「経済・地域社会への影響」をテーマにした企業向けセミナーを浜松



講演する池上重弘静岡文化芸術大副学長
 22日午後、浜松市中区

市中で開いた。多文化共生に詳しい池上重弘静岡文化芸術大副学長が講演し、日本で育

った定住外国人第2世代の人材活用を求めた。

2017年12月末時点の在留外国人は25

6万人で、約30年で2・5倍に増加した。池上副学長は今後も急増

局面が続くとの見方を示し、大学にも一般人が増えていると説明した。

政府が19年度から予定する外国人受け入れ拡大の政策で「新在留資格の『特定技能』で入国する人が増えてくると指摘。「門戸さえ開けばと思っ

ると、アジアにとつて魅力的に映らなくなる」と話し、労働環境改善を課題に挙げた。

同日を卒業したブラジル人第2世代の思いや活躍も紹介した。第2世代は日本を客観視できる存在で、母語や英語ができる上、日本にいる外国人がどんな思いをするか分かって

いる」と述べ、企業活動の中で活用を呼び掛けた。

セミナーは県内企業の担当者ら約60人が参加した。

同日を卒業したブラ